



リスニング・  
ライティング力UP

## 特集

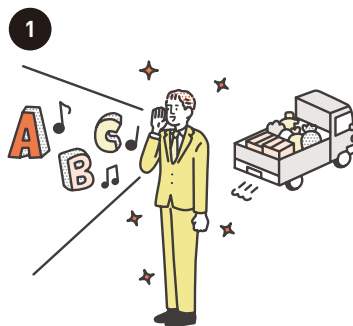
# CNNアンカーに学ぶ ニュース英語の トリセツ

リレーのように記者・ディレクターから情報を引き継ぎ、最終走者としてテレビの前の視聴者へニュースを届ける役割から、米国ではニュース番組の司会者を「アンカー」と呼びます。アンカーの多くは自分でニュース原稿を書き、よく使う英語表現にはいくつか共通する特徴があります。今特集ではCNNを例に、ニュース英語の特徴を11のポイントにまとめて紹介します。

イラスト：平松慶

編集：EE編集部・Dean Robson

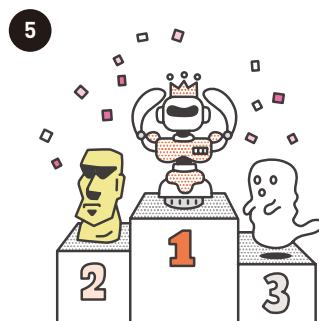
写真：Wikimedia Commons



### 1 分詞構文が頻出する

分詞構文は無駄な言葉を省いた大人の文体です。番組の限られた時間でリズム良く端的に情報を伝えます。

➡P.30



### 5 無生物主語がよく出る

どの国のニュースでも専門用語や抽象的な概念が主語になりがちです。無生物主語だと簡単に因果関係が示せて便利です。

➡P.36



### 9 違う言葉で言い換える

何度も同じ言葉を繰り返していると退屈です。ジャーナリストとしての語彙力が試されます。

➡P.40

2



〈with+名詞句〉を多用する

理由や付帯状況を表現する際には前置詞withがよく使われ、becauseやwhileはそれほど使いません。

➡ P.32

3



不完全文でも伝える

〈主語+述語動詞〉の構造を持たない臨場感のある文体もニュース英語の特徴です。文法的に完璧でなくてもOK!

➡ P.33

4



進行形と現在完了形がキホン

ニュースは「今」が大事です。最近・現在・未来の出来事を伝えるには完了形と進行形が必須の時制です。

➡ P.34

6

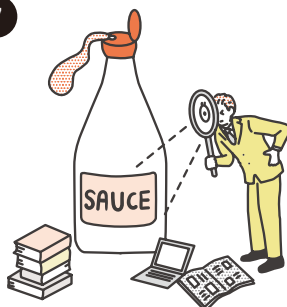


視聴者に語りかける

客観的な物言いも大事ですが、ショー・ビジネスとして視聴率も捨てられません。見ている人の注意と好奇心を引きます。

➡ P.38

7



ソースを明らかに

引用元の明示は報道のマナーです。信頼されるニュース番組作りには欠かせない表現です。ちなみに情報の「源」はsourceです。

➡ P.39

8

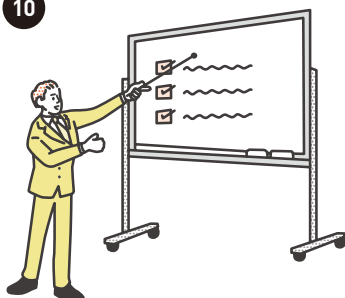


断定を避ける

白黒ハッキリさせたいところですが、中立を守るため言い切りを避け、曖昧さを受け入れるのもジャーナリズムの良心と言えるでしょう。

➡ P.39

10



はじめに要約する

話し始めには全体の道筋を示しましょう。何よりもまずわかりやすく、見る人の理解を第一に。プレゼンにも応用できます。

➡ P.41

11



CNNニュースの頻出単語40

知らない単語は聞き取れません。ニュースを理解するには重要な単語を覚え、発音できるようにしておきましょう。

➡ P.42

special



CNN GLENTSを受けてみよう!

CNNニュースを使った新時代のオンラインテスト。本特集の理解を試すチャンス!EE定期購読者は特別価格で受験できます。

➡ P.20、119